

静岡県東部地域の活性化を考える

飛躍 HIYAKU

平成10年度の歩み

 **サンフロント21**
懇話会

静岡県東部地域の活性化を考える

CONTENTS

● ごあいさつ	2
---------	---

● 「ひかり輝く地域づくり」に向けて 平成10年度のあゆみ	3
----------------------------------	---

● 地方分権の受け皿づくりを キラメッセぬまづオープン	7
TESS中間報告	9
平成11年度活動方針	11
静岡県観光活性化センター	13

● サンフロントから情報発信 新聞特集記事「風は東から」	15
テレビ特番「風は東から」	16
ラジオEAST	17

● サンフロント21懇話会名簿	19
-----------------	----

ごあいさつ



サンフロント21懇話会代表幹事
スルガ銀行社長

岡野 光喜

東部地域の活性化を目指し発足したサンフロント21懇話会の活動も、今年ではや5年目に入りました。

県中部、西部に比べてまとまりのない感のある東部でしたが、会員の皆様のご尽力でようやく一体感が出てきたと感じています。5年目を一つの節目とし、これまでの実績を活かしながら、この一体感にさらにパワーを持たせたいと念願しております。

ご承知のように、21世紀に向け、県東部でも活性化を狙いとしたさまざまなプロジェクトが展開されます。

伊豆新世紀創造祭の展開や、富士山こどもの国、がんセンターの建設などが推進力となって、県東部も一層発展するのではないのでしょうか。これらプロジェクトが持つ活性化へのインパクトを引き出すためにサンフロント21懇話会としても努力していきたいと思っております。

また、サンフロント21懇話会の基本目標であります広域行政の具体化につきましても、通常国会で地方分権への道筋が示されました。これを受け、地域住民にとって効率的で住みよい連合のあり方などについて、さらに掘り下げて研究していきたいと考えています。

民と官が議論を重ね、協力してよりよい方向を探るサンフロント21懇話会の活動は、県当局にも大いに評価され、平成10年度には助成金もいただきました。これも皆様のたゆみないご支援の結果と感謝しています。「光り輝く東部」の実現に向けて、引き続き皆様方のお力添えを切にお願いする次第です。



静岡新聞社・SBS静岡放送
社長

松井 純

皆様方にはサンフロント21懇話会の活動を支援していただき、心から感謝申し上げます。日本経済はここ数年、不況にあえぎ、ともすれば縮み志向になりがちですが、こんな中で、懇話会が発足5年目を迎えることができますことを、共に喜びたいと思っております。

東部地域活性化のために議論を重ねていますが、最近は分科会にも多くの方々の参加をいただくようになりました。活動を認めてもらうとともに、期待もされていると実感しています。

分散型都市構造といわれる県東部地域も、懇話会での議論などを通じて広域連携を探る動きも生まれてきました。

2000年から導入される介護保険、ダイオキシン対策に必要なゴミ処理にどう対応するかを考えた時、広域行政の実現は避けて通れません。いずれにせよ地方分権の受け皿をきちんと作らないと21世紀は乗りきれないでしょう。

サンフロント21懇話会も広域行政実現のため、これまで以上に問題提起をし、議論しながら地域住民の皆様方にもご理解いただくよう努力したいと思います。

また、ことしは伊豆新世紀創造祭直前の一年となります。市町村が魅力を競い合いながら観光地伊豆の“復権”を目指す創造祭が成功すれば、伊豆地域だけでなく、東部全体の活性化を促すことになるでしょう。創造祭の成功に向け、努力されている会員の方も多いので、懇話会としても応援していきたいと考えています。今後とも会員の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

「ひかり輝く地域づくり」に向けて

平成10年度の歩み

国際通貨研究所理事長

行天 豊雄

『ビッグバンの行方』



評論家・地方制度調査会委員

犬養 智子

『地方分権～
住みよいまちをつくる～』



名城大学教授

昇 秀樹

『広域行政の理想的な
パターンとは』



野球評論家・元広島カープ

衣笠 祥雄

『限りなき挑戦』



東京工業大学教授・
環境建築家

仙田 満

『こどもと未来』



静岡県知事

石川 嘉延

新聞特集「風は東から」に
ご登場いただき
東部地域の活性化について
語っていただきました。



◆10年4月

活動記録「飛躍」発行

平成9年度の活動内容をまとめた冊子「飛躍」(A4判、32ページ)を発行。総会、分科会の内容のほか、広域行政の具体化に向けてのタイトルで平成9年度プロジェクト推進状況と2010年に向けてのタイムスケジュールを紹介。なかでもテレビ放映で大きな反響を呼んだ東部総局開局3周年記念テレビ番組「県東部の中核都市構想・駿豆都市連合を考える」を紙上再録した。また、東部活性化を狙いとしたSBSラジオEASTが好聴取率を記録していることや会員名簿などを掲載している。3,000部発行。

◆10年4月21日

10年度総会 (東急ホテル)

代表幹事の岡野光喜スルガ銀行社長が「輝く21世紀の東部実現に向けて積極的な提言や議論をお願いしたい」とあいさつ。また、市町村長連絡会議の新会長、斎藤沼津市長も「具体的な成果の一環として沼津ドームの建設が実現した。地域活性化の起爆剤にしたい。積極的に利用してください」と呼びかけた。

9年度決算案、10年度予算案及び活動計画案を承認。空席だった故君澤藤一副代表幹事の後任に石田健二氏(ハックキミサワ社長)が就任、紹介された。

国際通貨研究所理事長、元大蔵省財務官の行天豊雄氏が「ビッグバンの行方」と題して記念講演した。会員数は363人。



◆10年6月25日

第4回伊豆地区分科会

(伊豆長岡アクシスかつらぎ)

評論家犬養智子さんが「地方分権～住みよいまちをつくる～」と題して講演。地方分権時代における住みよいまちづくりには住民の意識改革が重要と指摘した。

パネルディスカッションでは「人と自然と文化の融合～分権時代の中伊豆を考える～」をテーマに活発な意見が述べられ、今後の方向性に示唆を与えた。

◆10年9月2日

運営委員会全体会（東部総局サンフロント）

T E S S から県東部市町村の広域化に関するグランドデザインについての報告があり、これをもとに意見交換した。報告の中で、これら市町村が既に展開している広域的かつ地域連合行政に関係した資料が提出された。意見交換では、21世紀の東部地区を築くために地域に必要なもの、連携して効率化を図るものなどを的確に整理してグランドデザインを描くべきだ。そのためには地区分科会を出来るだけ開いて地元の意見を十分に吸い上げるべきだとの見解で一致した。

◆10年10月1日

「キラメッセぬまづ」オープン

J R 沼津駅北口で建設が進められていた多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」が完成。面積5,000平方メートル。柱の全くないアーチ型の個性的なスタイル。県東部にはこれまでこの種の施設がなかった。こうした事情を背景にサンフロント21懇話会が県東部活性化の拠点として設置を強く要望、実現を働きかけていた。

◆10年10月1日

東部地区分科会（みしまプラザホテル）

地元や周辺の首長、経済人、県議ら200人が出席。

自治省出身の昇秀樹名城大教授が「広域行政の理想的なパターンとは」と題して講演。日本の置かれた超高齢化社会への移行、最悪の財政に対処するには広域行政を推進するしか道はないと強調した。「東部拠点都市の創造～駿豆地区都市連合の実現に向けて～」をテーマにしたパネルディスカッションでも広域行政展開の重要性がさまざまな観点から指摘された。



◆10年11月6日

第8回全体会（ブケ東海）

鉄人と呼ばれ、野球殿堂入りした元広島カープ選手衣笠祥雄さんが「限りなき挑戦」と題して記念講演。自らの23年間に及ぶ苦難と栄光への軌跡のプロ野球人生を熱っぽく語り、感銘を与えた。また、当懇話会が提唱している静岡県観光活性化センター（仮称）構想を、2000年に伊豆全域で展開される伊豆新世紀創造祭にどう位置付けをしているのか、スライドにより再確認した。



◆10年11月26日

富士地区運営委員会（ビヨンス(株)会議室）

第4回富士地区分科会のテーマ「富士山こどもの国を踏まえた広域都市連合」を確認し、地元代表パネリストを選出。また、次回テーマとして富士地区で進められている大手企業の事業再編にかかわる分社・合併化の動きに注目。地元関連企業の再編と新たな進出企業によってもたらされる経済的、文化的なインパクトを広域的な観点から考察することで意見の一致をみた。

◆11年1月27日

運営委員会（淡島ホテル）

第4回富士地区分科会と平成11年度の活動方針を協議。富士地区分科会のテーマ「富士山こどもの国を踏まえた広域都市連合」については、会員のみならず広く一般市民にも参加を呼びかけることを確認。

11年度の活動目標として、県東部活性化を狙いとした広域行政の推進と2000年に開かれる伊豆新世紀創造祭を積極的にバックアップすることを申し合わせた。

◆11年2月9日

第4回富士地区分科会（フジロイアルプラザホテル）

「富士山こどもの国」を踏まえた広域都市連合はどうあるべきかを議論した。パネルディスカッションは立ち見の出る盛況であった。基調講演で東京工業大学の仙田満教授は「子供時代の遊びを通して社会性、創造性、感性が養われる。」と語り、体験型の富士山こどもの国を将来に亘って発展させるため地域ぐるみでバックアップすべきと強調した。

◆11年3月4日

運営委員会（サンフロント3F）

平成11年度の活動目標の一つに掲げる伊豆新世紀創造祭について意見交換し、積極的なバックアップを確認すると共に、創造祭を検証して2001年以降の地域づくりにつなげていく方針を決めた。検証は 顧客本位の姿勢 地域・住民の参加 地域のアイデンティティーが打ち出せたかを主眼に具体案などを検討する。



地方分権の受け皿づくりを

「キラメッセぬまづ」オープン

県東部初の大規模展示イベントホール「キラメッセぬまづ」が平成10年10月1日JR沼津駅北口にオープンしました。

この施設は県東部活性化の拠点としてサンフロント21懇話会が4年前の発足当初から強く設置を要望、実現を働きかけていたものです。

真っ白なアーチ型の屋根が印象的な同施設は、面積5,000㎡、柱を使わない構造は物産展や新製品発表会などの展示会・見本市、各種商談会、プロスポーツ、コンサートなど広いスペースを必要とする様々なイベントに対応可能。また、地震などの災害時には一時的に多くの人数を収容できる緊急避難所の役割も担っています。加えてJR沼津駅より徒歩3分という立地の良さも沼津市民はもとより県東部に住む多くの人々の利用が可能となり、それを示すかのようにオープン以来の稼働率は70%を上回る高い数字となっています。さらに、首都圏から約100キロメートルという地理的優位性から、人、物、情報の交流拠点としての機能が期待されています。今後も沼津、三島に限らず県東部全体のにぎわいの核として広域的に活用されることでしょう。



沼津市長
齋藤 衛

「キラメッセぬまづ」がオープンして半年が経ちました。おかげさまで、自治体はもちろん幅広い業種のみなさんにご利用いただき、感謝しています。

沼津市内だけでなく県内外からも申込みを受けている状況で、今更ながら東部地域にとって「待望の施設」だったのだな - と実感しています。今後も利用者のご意見を聞きながら、よりよい運営を心掛けていきます。

サンフロント21懇話会の皆様のご提言もあって実現しました。会員の皆様もぜひご利用下さい。



催事の入場者で賑わう「キラメッセぬまづ」

「キラメッセぬまづ」設置までの懇話会活動

平成7年度	沼津駅周辺再開発事業「行政センター構想」を提案・採択
平成8年11月9日	全体会にて沼津駅周辺再開発事業が本格化するまでの時限措置として「JR沼津駅北側仮設イベント施設」の石川知事への申し入れを決定
平成8年12月24日	静岡県庁にて「仮設イベント施設」設置要望書を石川知事に提出
平成9年4月21日	総会にて斎藤衛沼津市長が「沼津ドームと広域行政」をテーマに講演
平成9年度	「沼津ドーム」運営基本計画・実施計画を策定する官民合同の「多目的イベント施設活用研究会」へTESSから4名の研究員が参画
平成10年2月1日	「キラメッセぬまづ」起工式
平成10年10月1日	「キラメッセぬまづ」オープン



「キラメッセぬまづ」内部



キラメッセぬまづ

地方分権の受け皿づくりを

TESS中間報告

サンフロント21懇話会の提案活動をサポートする目的で平成8年設置されたシンクタンクTESSでは、2010年をターゲットに地域のランドデザインを描くための予備調査を行っています。

今回は、平成9年度より継続してきた公共施設の現況調査の中間報告をここに掲載します。

●公共施設の現況調査

東部地域における広域連携の可能性を探るため、その足がかりとして東部地域の公共施設の現況調査を進めてきた。

調査を実施した対象施設は次の通りである。

上水道施設・下水道施設
ごみ処理施設（焼却一般）・消防
一般保育所・小規模保育所
へき地保育所・助産施設
特別養護老人ホーム・養護老人ホーム
老人福祉センター
老人デイサービスセンター
老人憩いの家・病院

併せて、広域行政の実質的な受け皿になっている一部事務組合についても県市町村課の資料に基づいて調査を行った。

一部事務組合関係を見ると、最も早く誕生したのは駿豆地区の三島市、函南町、清水町により構成される箱根山の共有土地の財産管理を共同処理する一部事務組合で明治23年に結成されている。また、大正6年に菰山町、大仁町、伊豆長岡町により設立された菰山町他2ヶ町組合においても共有土地の財産管理を共同処理の対象としており、一部事務組合創生期の事務処理二-

ズは財産管理だった。その後の一部事務組合設立の目的をたどると、ゴミ、し尿処理、農業用水、下水道、交通災害共済、消防救急、火葬場など基本的な生活基盤の共有が中心となっている。このほか、精薄児施設を管理する駿豆学園管理組合には富士地区、駿豆地区、伊豆西海岸地区、伊豆中央地区にまたがって14市町村が参画している。また、昭和39年に設立された御殿場市小山町広域行政組合は、ゴミ処理、し尿処理、火葬場、消防、救急などを共同処理しており、事務範囲としては東部の一部事務組合の中で最も広がっている。

サンフロント21懇話会が広域化を提唱している駿豆地区については、下水道普及率が県の平均普及率を下回る市町が多く、今後の低成長下における厳しい財政事業の中で効率的な下水道整備推進を進める方法としても広域連携が検討されるべきである。

ゴミ処理については、御殿場市小山町広域行政組合による共同処理がみられるのみで、他は市町村単位事業になっている。

今後のゴミ処理については、ダイオキシン発生防止を図るため焼却施設的能力増強が不可欠。それに加え公害除去、エネルギー再利用など様々な機能が要請されるため施設単位の建設コストは上昇することが予想される。今後は、施設の統合による効率化が市町村間で検討されるべきである。



TESS委員長
(株)シード
代表取締役社長

西島 昭男

事務処理や施設の相互利用によるコストダウン、過疎地における医師やヘルパーの確保に道が開けるため。また、函館市など5市町村では公立大学の設置・管理・運営を共同化しているほか、三重県では櫻井市等7市町村が共同で観光振興策を行い、奈良県では14市町村が共同で情報ネットワークを構築している。さらに、インターネット活用、文化センター・文化ホール建設、青少年の海外派遣、共同職員研修など、よりソフトな分野に拡がりをみせている。

●今後の広域行政の趨勢

この3年間で全国で誕生した合併と広域連合の比率は合併2に対して広域連合は17である。職を失う可能性のある首長や議員の意識に加えて合併による地域格差の拡大や行政サービスの低下（住民満足度の低下）や地域らしさ（地域文化・アイデンティティ）が失われていく事への住民の懸念も合併ではなく広域連合を選ぶ要因になっていると思われる。

広域連合：94年の改正地方自治法で創設された特別地方公共団体の一つ。複数の自治体が連合し、効率よい広域的な行政をするとともに、国からの権限委譲の受け皿とすることがねらい。設立を促すため国は特別交付税など財政支援措置を講じる。

広域連合の対象事業としては、ゴミやし尿の処理に代表される生活基礎基盤を担ってきた一部事務組合の共同処理事務から新たな展開を見せている。

公的介護保険に関しては全国で16の広域連合の設置計画が進んでいるが、これは

●駿豆都市連合への手段

駿豆都市連合についても、前述した下水道やゴミ処理のほか、各地域に共通するニーズや情報化など時代から要請されるニーズを見極めた上で、広域化によって事務処理の一元化や施設の相互利用など効率効果の向上が可能な事業を選別し、そのための手段として広域連合化を提唱するといった具体的な方法が、住民にも各市町村にもわかりやすく、かつより迅速な推進が図れるのではないかと。

今後は各市町村の課題を持ち寄れる場を作り、それら課題への取り組みを共通して話し合える市町村相互関係づくりを行い、そして共同プロジェクトの検討と創設を推進していく機関づくりが必要である。

その推進役のサンフロント21懇話会としては、漠とした総花的なデザインを描くのではなく、駿豆地区はどういった事業分野において広域連携が可能なのか、必要なのかといった具体的な提言を行いつつ、コーディネーター役を果たしていくべきである。

地方分権の受け皿づくりを

平成11年度活動方針

21世紀まで残すところあと2年となりました。さきごろ静岡県は、訪れる人も住む人も快適さを実感できる「快適空間しずおか」の実現に向け、社会資本、自然環境、新しい社会システムといった社会条件の整備を進めることを発表しました。

少子、高齢化社会の到来は、言い換えれば住み易さを一つの基準に住む地域を選ぶ時代とも言えます。たくさんの人が集まることでにぎわいが、産業が興り、地域の魅力が生まれる。そのためにもサンフロント21懇話会の提唱する地域連合、広域連携は欠かせません。

■県東部活性化をねらいとした 広域行政の推進

前年度より引き続き、分散型都市構造の県東部28市町村を効率のよい広域行政が展開できるようブロック化を検討します。2000年から導入される介護保険、ダイオキシン対策に必要なゴミ処理などにどう対応するか - などの観点をふまえながら、市町村の事情にあった連携の方向を詰めていきます。

その中でも、沼津、三島を中心とした駿豆8市町村を中部の静岡市、西部の浜松市に匹敵する「**県東部中核都市圏**」と位置づけ、人口60万規模の核都市づくりを目指します。

駿豆8市町の人口（99年3月1日現在・県統計課調べ）

沼津市	209,702
三島市	110,485
御殿場市	82,926
裾野市	51,369
函南町	38,415
清水町	30,634
長泉町	35,442
小山町	22,294
<hr/>	
(計)	581,267
<hr/>	
(参考)静岡市	474,183
浜松市	575,241

方法論・手順

「県東部中核都市圏」をベースにした東部核都市づくりについては、21世紀までの2年間で8市町の役割を明確にした100年の大計（グランドデザイン）を描き出します。この間、8市町民に対して広域連携の主旨徹底を図り、2001年から段階的に構想を具体化していきます。

広域行政、広域連携が急がれる新たな要件

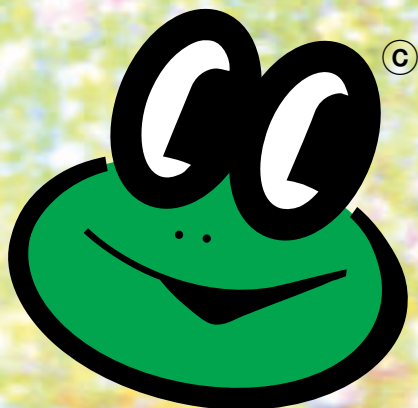
2000年導入の介護保険は医師の少ないところでは要介護認定がスムーズにできない。ゴミ処理についても小規模な焼却場ではダイオキシン対策が万全ではない。このような観点からも広域行政で協力していく体制が必要です。福祉サービスの低下、環境悪化を避けるためにも広域行政の展開は避けて通れない課題です。



■伊豆新世紀創造祭への支援

2000年にオープニングを迎える伊豆新世紀創造祭は、伊豆地域だけでなく、県東部全体の活性化にもプラスに作用するビッグイベント。伊豆地区を中心に、既に多数の懇話会会員が盛り上げなどに努力しています。伊豆地区への観光客入込数を近い将来、実数で200万人増やすこのイベントは、県東部全体の活性化にもつながることから、懇話会としてもバックアップしていく方針です。

具体的には静岡新聞のサンフロント21懇話会企画「風は東から」シリーズパートで全県に発信していきます。



■静岡県観光活性化センター構想の推進

平成8年12月に懇話会として石川県知事に陳情、三島市が誘致に名乗りをあげ、県でも検討したが、東中西のバランス、人員配置が困難などの理由から継続案件となっています。

一方で、伊豆新世紀創造祭の事業の一つとして「伊豆ワカガエルステーション」の設置構想や、市町村や観光協会独自の観光情報発信事業なども展開され始めています。

「伊豆ワカガエルステーション」は伊豆を訪れた人に駅や市役所、町役場などで、自分の市や町の情報だけでなく伊豆全体の情報を対面方式で宣伝するもので、県も看板、パンフレットなどの助成をします。また、熱海観光協会、天城湯ヶ島町などでは独自の観光情報発信事業を計画しています。

このため県観光活性化センター構想は、これらの動きを見極め、「伊豆ワカガエルステーション」の受け皿としての機能を視野に入れながら、地元でどの程度体制が組めるかなどを改めて検討し、県、県観光協会などの関係機関に推進を働きかけていく方針です。

地方分権の受け皿づくりを

静岡県観光活性化センター

平成11年度活動方針で述べたように、懇話会では2000年に行われる伊豆新世紀創造祭に向けた支援を積極的に展開していく方針です。静岡県観光活性化センター構想の推進もその一つです。

懇話会では、伊豆新世紀創造祭の事業の一つである「伊豆ワカガエルステーション」の受け皿としての機能を視野に入れながら、構想推進の方向性を検討していく予定です。

■ 事業内容

観光活性化センターは以下の3事業が柱となります。平成11年度活動方針ではそのうち、観光情報サービス事業を「伊豆ワカガエルステーション」の受け皿機能として、積極的に推し進める予定です。

①観光情報サービス事業

伊豆新世紀創造祭における観光情報発信の集約

会員制保養施設斡旋事業

首都圏内企業を対象とした事業展開

コンサルティング事業

地方公共団体からの企画調査委託業務を機軸に展開

■ 観光情報サービス事業

観光情報サービス事業の役割は東部地域の観光情報の収集・集積・発信です。観光を活性化する情報は、利用者の要求に応える質・量・新鮮さを持たねばなりません。情報の利用者は、大きく2つに分類されます。ひとつは観光サービスを提供する側、もう一つは観光サービスを楽しむ側。観光活性化センターはこの両者からの期待に十分応えうる事業となるでしょう。

■ 観光情報サービス事業のしくみ

情報の収集源は多岐にわたります。宿泊業者、交通運輸業者、観光事業者そして情報利用者。情報の利用者が受け手にとどまるのではなく、情報の発信者になる仕組み作りが大切です。また、情報の利用は、ひとつの情報を様々な媒体で提供する（One Source Multi Use）の考えが必要です。情報が利用価値をもつためには、その質・量・新鮮さにおいて利用者の期待に応えられるレベルを構築するとともに、常時、情報の刷新を行っていかねばなりません。従って、観光業者間の緊密な協力がその成否を左右することになります。

市町村・観光課・観光協会

地域のイベントを計画
地域の観光案内を積極的に広報
地域の業者情報の鮮度を確認

静岡県Hello Navi

地域のイベントを掲載
重点地域への支援
全県下の情報発信

宿泊業者

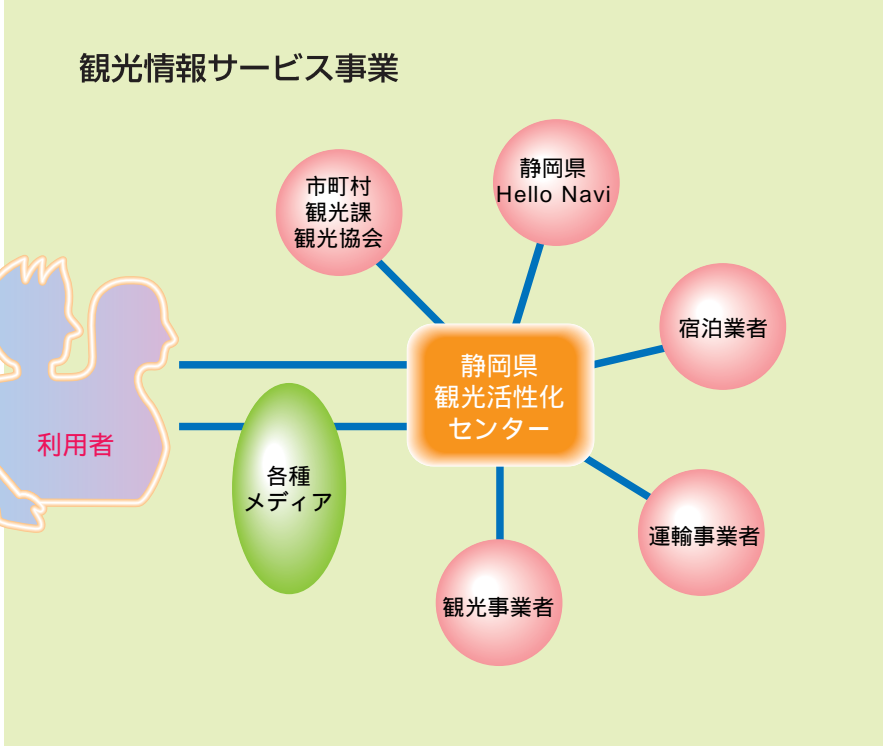
住所、電話番号、FAX、ネットアドレス
価格、部屋数、食事の有無
予約状況
駐車台数、交通手段
近くイベント情報
チェックイン・アウトの時刻
温泉の種類、効能、風呂場の面積、数
高齢者、障害者対応状況 など

運輸事業者

交通手段名
時刻表、料金表
定員数、予約状況
雨天、積雪情報
問い合わせ電話、FAX、ネットアドレス
高齢者、障害者対応状況 など

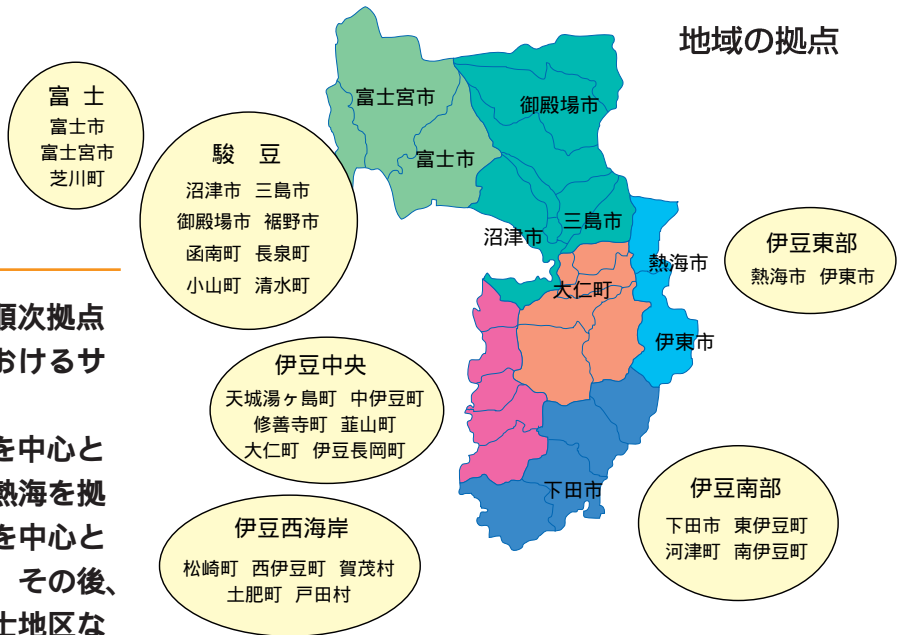
観光事業者

施設名、交通手段
料金、営業時間、駐車台数
イベント情報、名物・おみやげ情報
高齢者、障害者対応状況 など



地域の拠点

観光活性化センター計画の推進は、順次拠点を設置する方法により、伊豆全域におけるサービス提供を実現していきます。最初の拠点として、沼津・三島地区を中心としたセンターの解説、さらに伊東・熱海を拠点とした伊豆東部地区、続いて下田を中心とした南伊豆の拠点、伊豆中央の拠点。その後、静岡県東部、伊豆西海岸、駿豆、富士地区など拠点を拡大していきます。



サンフロントから情報発信

新聞特集記事「風は東から」

平成10年4月～平成11年3月

静岡新聞東部版

毎月第3火曜日掲載

懇話会活動も4年目を迎え、キラメッセぬまづをはじめとする様々な取り組みが形を現しつつあります。地方分権が時代の要請となっている今、この県東部が誰にとっても住み良い地域になるには今後どのような受け皿作りが必要か。サンフロント21懇話会では今年度を、今までの活動を外に向けてアピールする最初の年と位置づけ、懇話会が目指す広域行政を広く地域のみなさまにご理解いただくべく、平成10年4月から12回にわたりサンフロント21懇話会3周年記念特集「風は東から」を静岡新聞に掲載しました。ナビゲーター（案内役）は静岡産業大学国際情報学部大坪檀教授。東部各都市の市長や経済界をはじめ東部にゆかりのあるゲストが、地域づくり、都市づくり、広域行政展開への課題など様々なテーマで対談し、好評を博しました。最終回の3月には石川嘉延静岡県知事をゲストにお迎えし、今後の県東部発展の方向性について語っていただきました。

今年4月から新たに始まるPart 2では2000年に迫った「伊豆新世紀創造祭」をメインに「富士山こどもの国」や広域連携の実現へ向けての取り組みなど、全県カラー版にバージョンアップし静岡県全域にアピールしていきます。



11月 有馬稲子氏



3月 石川嘉延静岡県知事



ナビゲーター 大坪檀教授



10月 山田邦子氏

■風は東からゲスト一覧

対談・縣談者

- | | |
|-----|-------------------------------------|
| 4月 | 岡野光喜スルガ銀行社長 |
| 5月 | 清水強静岡県東部県行政センター所長 |
| 6月 | 鈴木藤一郎伊東市長・
浅羽愛子あさば旅館女将 |
| 7月 | 内海重忠御殿場市長・
庄司清和米久社長 |
| 8月 | 川口市雄熱海市長・作家杉本苑子氏 |
| 9月 | 鈴木清見富士市長・作曲家林哲司氏 |
| 10月 | 斎藤衛沼津市長・タレント山田邦子氏 |
| 11月 | 池谷淳下田市長・女優有馬稲子氏 |
| 12月 | 大橋俊二裾野市長・木版画家風鈴丸氏 |
| 1月 | 渡辺紀富士宮市長・エッセイスト/
国際ラリーライダー山村レイコ氏 |
| 2月 | 峰田武三島商工会議所会頭・
鈴木菊三郎鈴木工務店社長 |
| 3月 | 石川嘉延静岡県知事 |

テレビ特番「風は東から」

SBSテレビ

平成10年8月22日（土）

10：30～11：25

風は東から～市民と創る東部新時代

平成11年3月27日（土）

10：00～10：55

風は東から～県東部活性化への胎動

静岡新聞連載の「風は東から～ひかり輝く地域づくりに向けて」に連動する形で、テレビ特番「風は東から」が8月22日と3月27日の2回にわたりSBS放送で放映されました。

番組では女性リポーター2人が東部各地を訪れ、懇話会が進める広域連携・地域連合の具体的な動きをわかりやすく紹介しました。

第1回はオープン直前のキラメッセぬまづを中心に、伊豆中央道、第二東名計画など東部のアクセス状況や、富士山こどもの国への期待などを、また第2回では伊豆観光の活性化を図るため2000年に予定されている伊豆新世紀創造祭など、石川県知事のインタビューを交えながらお送りしました。

今後もサンフロント21懇話会の活動方針、活動状況と歩調を合わせながら、ラジオ・新聞も含めたトータルなPR活動を行っていきます。



サンフロントから情報発信

ラジオEAST

SBSラジオ
毎週土曜日
11:00~12:50

サンフロント21懇話会から生まれた東部地域のパーフェクトガイド「土曜ワイドラジオイースト」も3年が経過し、全県のリスナーからますます高い支持を集めています。

昨年10月にメインパーソナリティが交代、リポーターにも新メンバーを加え、さらに充実した番組を目指しスタッフ一同気持ちを新たにしています。その成果は昨年12月実施の県内ラジオ聴取率調査にも現れ、前回(98年6月)よりも12時台の平均聴取率(12才~69才)が1.9%から2.6%に0.7ポイントアップしています。特筆すべきは12才~39才のリスナーが大幅に増えたこと(0.7% 1.6%)、これまで弱いとされていた20代、30代にもラジオイーストが浸透していることが分かりました。

今年度はサンフロントビルを飛び出しての公開生放送も10回を越え、よりライブ感あふれる番組をお送りしています。また、コミュニティFM2局とのジョイント放送を行うなど新しい可能性にも挑戦しているラジオイースト。今後もより細かな東部の情報発信を心がけ、さらには2000年に行われる新世紀創造祭に向けての各地の取り組みなども積極的にお送りしていきます。

また、サンフロント21懇話会会員のみなさまには引き続きご出演をお願いいたしますので、今後ともご協力をお願いします。



ラジオEASTゲストコメンテーター一覧

平成 10年

4月 4日	一杉 真城	ヒトスギ塾塾長
4月11日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部教授
4月18日	林 謙次	(財)日本サイクルスポーツセンター 常務理事
4月25日	植松 英生	三嶋大社 総務課長
5月 2日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
5月 9日	木村 博彦	(株)木村鋳造所 代表取締役社長
5月16日	小野田勝美	(株)アオイ 代表取締役社長
5月23日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
5月30日	高橋 昭	平成学院 代表取締役学長
6月 6日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
6月13日	石田 九市	たまごひろい牧場 社長
	野本二士夫	手づくり自然食友の会 会長
6月20日	酒井 康裕	御殿場高原ビール 支配人
6月27日	松田 英子	華道 宗丹流 家元
7月 4日	野毛 孝容	土肥町観光協会 会長
	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
7月11日	横井 徹也	(有)京都もなみ 店長
7月18日	西脇 誠	淡島アイランドリゾート 陶芸の里 講師
7月25日		高校野球静岡大会放送の為中止
8月 1日	佐野 和彦	(有)魚魚丸 代表
8月 8日	宮澤 賢次	富士開拓農業協同組合 組合長
8月15日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
8月22日	山内 倭子	東興グループ 代表取締役
8月29日	田村 政信	(株)岡根谷 専務取締役
9月 5日	高田 欣浩	ネットトヨタ静岡(株) 代表取締役社長
9月12日	芹澤 伸行	函南町 町長
	近藤 忠一	酪農王国(株)オラッチェ 代表取締役
9月19日	増田 秀次	(株)関東精工 代表取締役会長
9月26日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
10月 3日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
10月10日	竹之内晴夫	菱友興産(株) 代表取締役
10月17日	三須 恭子	三洲園
10月24日	富田 隆	心理学者
10月31日	村田 俊英	南伊豆町観光協会 会長
11月 7日	杉山 春樹	(株)特急 代表取締役
11月14日	楠山 俊介	チェンジェーズ 代表幹事
	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
11月21日	福井 靖之	静岡県伊豆県行政センター 所長
11月28日	森 延敏	原町商工会 会長
12月 5日	渡辺 安弘	三盛自動車販売(株) 代表取締役社長
12月12日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
12月19日	荻野 泰弘	新橋商店会 会長
12月26日	石澤 敏夫	日産プリンス沼津販売(株) 代表取締役社長

平成 11年

1月 2日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
1月 9日	清 恭治	富士錦酒造(株) 代表取締役社長
1月16日	山田勇次郎	富士市農業協同組合 代表理事組合長
1月23日	井原 孝	伊豆新世紀創造祭伊東市民会議 会長
1月30日	山口百合恵	日本シルバーサービス(株)桜湯園 園長
2月 6日	小林 通	日本大学国際関係学部 教授
2月13日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
2月20日	山口 絹代	南伊豆町観光協会 事務局長
2月27日	大村 光孝	(株)ふじ・クック 代表
3月 6日	大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部 教授
3月13日	室伏 勝宏	みしまプラザホテル 代表取締役
3月20日	石島 専吉	東伊豆町観光協会 副会長
3月27日	斎藤 衛	沼津市 市長

サンフロント21懇話会名簿

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
相田 研一	アイダ産業(株)	代表取締役	乾 精治	(株)スルガ銀行	常務取締役
相原 浩人	(株)ティアスコ	代表取締役	井上 光一	静岡県中小企業団体中央会	会長
青木喜代司	青木興業(株)	代表取締役	岩瀬 一郎	沖電気工業(株)沼津生産センター	センター長
赤堀 博	赤武(株)	代表取締役社長	岩田 篤	南伊豆町	町長
秋田 早苗	静岡新聞社・静岡放送	専務取締役	植草慎一郎	(株)康報社 植草新聞店	代表取締役専務
秋元 一寿	秋元水産(株)	代表取締役社長	植松 郁男	(株)植松	代表取締役社長
秋山 暢夫	沼津市立病院	病院長	植松 眞	(株)トーヨーアサノ	代表取締役
秋山 正幸	日本大学国際関係学部	学部長	白井 進	芝川町	町長
浅羽 愛子	あさば旅館	代表取締役	薄井 康夫	大和ハウス工業(株)沼津支店	支店長
浅場 守	(株)安心堂沼津店	東部営業部長	内田 一仁	農事組合法人堂ヶ島洋らんセンター	代表理事園長
芦川 勝年	沼津市商店街連盟	会長	内田 隆久	伊豆洋らんパーク	代表取締役
荒川 邦夫	(株)永盛丸	代表取締役	内田 文喬	内田法律事務所	弁護士
井口 修一	(株)フジスポーツ	代表取締役社長	内野 敬太	大岡建設工業(株)	代表取締役
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	所長	内海 重忠	御殿場市	市長
池田 尚志	(株)エスピーエプロモーション	代表取締役	宇野 統彦	(株)桃中軒	社長
池田 博明	静岡県共済農業協同組合連合会東部支所	支所長	梅原 秀彦	NTT東海移動通信(株)静岡支店ドコモスクエア沼津	所長
池田 誠	池田病院	院長	遠藤 里美	日本ガス興業(株)	代表取締役社長
池田 正憲	静岡新聞社・静岡放送	取締役SBS学苑本部長	遠藤 忠男	(有)遠藤新聞舗	専務取締役
池田 泰秀	(株)東海情報	代表取締役	大井 一郎	(株)キンヤ	代表取締役
池谷 淳	下田市	市長	大石 滋	静岡新聞社・静岡放送	代表取締役専務
池谷 喜幸	(株)池谷商会	代表取締役	大鐘 浩志	(株)イシバシプラザ	常務取締役
伊澤 純一	静岡新聞社・静岡放送	取締役事業局長	大木 一清	土肥町	町長
石井 利平	(株)石井組	代表取締役社長	大木理久夫	大富運輸(株)	代表取締役
石井 利平	富士商工会議所	会頭	大古田和彦	山本被服(株)	取締役社長
石川 諭	スルガ総合保険(株)	代表取締役社長	太田 勇	静岡県富士財務事務所	所長
石川 博	(株)ニューますや	代表取締役	太田 正央	東海自動車(株)	取締役社長
石崎 章吾	(株)エム・エス・エス	専務取締役	大塚 浩	日本火災海上保険(株)静岡支店沼津支社	支社長
石澤 敏夫	日産プリンス沼津販売(株)	代表取締役社長	大野 康吉	(株)静岡銀行	常務取締役
石田 健二	(株)ハックキミサワ	代表取締役社長	大橋 俊二	裾野市	市長
石原 新二	(株)エムオーエー商事	副社長	大橋 光雄	沼津商工会議所	会頭
石原拓一郎	石原機械工業(株)	代表取締役社長	大村 恵紀	大村歯科医院	院長
石山 隆治	静岡新聞社・静岡放送	取締役社長室長	大森 勇夫	五洋建設(株)静岡営業所	所長
井出 信明	(株)井出組	代表取締役	小笠原一夫	宇徳通運(株)	代表取締役社長
伊藤 教二	(株)伊豆新聞本社	代表取締役社長	尾形 充生	(株)静岡中央銀行	取締役社長
伊藤 春秀	浄蓮の滝協業組合	代表理事	岡庭 信夫	伊豆急行(株)	取締役社長
稲葉 安久	伊東商工会議所	会頭	岡野 光喜	(株)スルガ銀行	社長

氏名	会社名	役職
岡本久美子	日本産業(株)岡本ホテル	代表取締役社長
小川 清	(株)西武百貨店沼津店	店長
小栗 徹	宝不動産(株)	代表取締役
刑部 圭二	(有)啓伸社 刑部新聞店	代表
長田 央	小山町	町長
長田 吉弘	(株)オサコー建設	代表取締役
小田 銀平	静岡新聞社・静岡放送	取締役販売局長
小野 正	伊豆長岡町	町長
小野 徹	小野建設(株)	代表取締役
小野寺喜一郎	富士設計(株)	代表取締役
大日方幸保	(株)地域システム計画研究所	代表取締役
小柳津隆弘	静岡新聞社・静岡放送	取締役出版局長
海瀬 英治	中伊豆町	町長
梶原 正雄	協同組合沼津卸商社センター	理事長
柏木 忠夫	長泉町	町長
片野 勇	(株)伊豆味噌醸造所	社長
片山 修司	片山建設(株)	専務取締役
片山 劼	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長
勝間田一男	駿河信用金庫	理事長
勝亦 章司	(株)勝亦新聞店	専務取締役
勝又 敏雄	(株)カジマヤ	代表取締役社長
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	代表取締役社長
勝又 典和	静岡県沼津財務事務所	所長
勝間田久嗣	二葉建設(株)	代表取締役
勝又 英男	(株)勝又新聞店	代表取締役
勝間田芳麿	(学)東駿学園 御殿場西高等学校	理事長
加藤 孝彦	(株)コーゲツ	代表取締役
加藤 久信	(株)淡島ホテル	取締役社長
加藤 昌利	(株)ホテル銀水荘	代表取締役副社長
金指 光義	(株)稲取観光ホテル	代表取締役
河合 剛一	静岡県富士土木事務所	所長
川口 哲	富久興製紙(株)	代表取締役社長
川口 市雄	熱海市	市長
河口陽二郎	(株)増進会出版社	取締役会長
河越 大郎	東京宝(株)	代表取締役社長
川崎 功	地域振興整備公団静岡東部特定再開発事務所	所長

氏名	会社名	役職
河田 清司	加和太建設(株)	代表取締役社長
河津 市元	河津建設(株)	代表取締役社長
河津 正治	下田商工会議所	会頭
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長
北村 重憲	(株)サザンクロス	代表取締役社長
木所 祺直	(有)ドルセ	代表取締役
木下 秀彰	大森ターミナルビル(株)	代表取締役社長
木村 博彦	(株)木村鋳造所	代表取締役社長
木村 充	ホテルカタラ福島屋	代表取締役
口広 守	ジャスコ(株)SC開発本部中部開発部	中部開発部長
國田 昌裕	東京電力(株)沼津支店	理事沼津支店長
窪田 一郎	西伊豆町	町長
久保田平八郎	東和(株)	代表取締役
久保田隆三	春日製紙工業(株)	代表取締役社長
熊谷 弘	富士通(株)沼津支店	支店長
倉持 衛夫	国立東静岡病院	院長
小池 政臣	三島市	市長
小泉 和久	小泉アフリカライオンサファリ(株)	代表取締役
小島 邦彦	大成建設(株)静岡東部営業所	所長
五條 朝男	静岡新聞社・静岡放送	常務取締役
小谷 勇	静岡新聞社・静岡放送	常任顧問・取締役情報システム局長
後藤 全弘	(株)ゴトー	代表取締役社長
後藤 公夫	麒麟ビール(株)沼津支店	支店長
後藤久美子	(株)後藤組	代表取締役
後藤 孝	ピョンズ(株)	取締役社長
後藤 泰利	(有)トシ・ゴトー	代表取締役
小西 克三	安田生命保険相互会社沼津支社	支社長
小林 省吾	(株)小林製作所	代表取締役社長
小松 英世	スルガカード(株)	代表取締役
近藤 安散	近藤鋼材(株)	代表取締役社長
齊藤 大	伊東ガス(株)	取締役社長
齋藤 保	積水ハウス(株)沼津支店	支店長
齊藤知三郎	大昭和紙工産業(株)	代表取締役社長
齋藤 春世	斉藤設備工業(株)	代表取締役社長
齋藤 衛	沼津市	市長
齋藤 稔	(株)斉藤組	代表取締役社長

サンフロント21懇話会名簿

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
齊藤 洋	沼津三菱自動車販売(株)	代表取締役社長	鈴木藤一郎	伊東市	市長
佐伯 隆彰	(有)佐伯新聞店	代表取締役	鈴木 敏之	(学)鈴木学園	理事長
酒井 悌治	(株)エフエムみしま・かんなみ	代表取締役社長	鈴木 宏明	(株)鈴木新聞店	副社長
榊原 茂幸	沼津石材(株)	専務取締役	須田 延雄	大東紡エステート(株)	代表取締役
坂本 研一	(株)エーティー・エンジニアリング	代表取締役社長	諏訪部恭一	沼津信用金庫	理事長
櫻井 泰次	河津町	町長	諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長
佐々木 勉	南部化成(株)	代表取締役	清 恭治	富士錦酒造(株)	代表取締役社長
佐藤 侃二	静岡県熱海県行政センター	所長	関本 文彦	東海金属工業(株)	代表取締役社長
佐藤キクヨ	(株)協立電気商会	代表取締役	関谷 盛次	西伊豆ホテルニュー岡部	取締役支配人
佐藤 孝行	沼津魚仲買商協同組合	理事長	芹澤 暉二	伊豆箱根鉄道(株)	取締役社長
佐藤徳太郎	(株)佐藤建設	代表取締役社長	芹澤 伸行	函南町	町長
佐野 治郎	大興製紙(株)	取締役社長	曾我 公一	日本ペーレー(株)	代表取締役社長
佐野 正幸	(有)佐野新聞店	代表取締役	高木 和宏	伊豆経営研究所	代表
沢田 稔	岡三ゴルフ	代表取締役	高木 一三	高木産業(株)	代表取締役会長
塩谷 敦子	(株)ニューフジヤホテル	代表取締役社長	高島 博行	和興産業(株)	代表取締役
志田 真澄	(株)志田商会	代表取締役	高田 菊平	ニューデルタ工業(株)	代表取締役社長
島田雄二郎	安田火災海上保険(株)東静岡支店	支店長	高田 利江	(有)吉原自動車学校	取締役社長
清水 強	静岡県東部県行政センター	所長	高田 英昭	鹿島建設(株)静岡営業所	所長
清水 允熙	医療法人社団清陽会 御殿場高原病院	理事長	高田 欣浩	ネットトヨタ静岡(株)	代表取締役社長
庄司 清和	米久(株)	代表取締役社長	高橋 郁子	茶華道教授	
庄司 睦	南駿農業協同組合	代表理事組合長	滝口 一彦	大二製紙(株)	代表取締役
進士 昌明	東海大学開発工学部	学部長	武内 進	静岡エスキモー販売(株)	代表取締役社長
陣内 裕則	野村證券(株)沼津支店	支店長	竹内 幸夫	東伊豆町商工会	会長
杉田 至弘	静岡新聞社・静岡放送	取締役総務局長	田代 寿夫	(株)田代新聞センター	代表取締役
杉本 哲男	杉本工業(株)	代表取締役	多田 舜一	(株)東静ビル・エンタープライズ	代表取締役
杉山 定之	南富士産業(株)	代表取締役社長	立岩 博明	立岩石材興業(株)	代表取締役
杉山 茂年	(株)杉山工務店	代表取締役	立岩 博明	天城湯ヶ島町	町長
杉山 博一	(有)杉山バラ園エルローザ	代表取締役	竜野 輝夫	(株)東日	代表取締役社長
杉山 裕將	(株)ヌマツペーカリー	取締役副社長	田邊まなみ	新日本作法会	教授
杉山 博康	(株)静岡銀行沼津支店	取締役支店長	田畑 真助	(株)田畑新聞店	専務取締役
鈴木 一紘	静岡新聞社・静岡放送	取締役東部総局長	田村 明裕	明治製紙(株)	代表取締役社長
鈴木菊三郎	(株)鈴木工務店	代表取締役社長	田村大次郎	(株)フジタ静岡営業所	所長
鈴木 清見	富士市	市長	田村 政信	(株)岡根谷	専務取締役・税理士
鈴木 光一	マルスン(株)	代表取締役	田村 又吉	東伊豆町	町長
鈴木善之助	近鉄物流(株)	取締役相談役	千葉 俊隆	(株)ホテル水葉亭	代表取締役社長
鈴木 恒男	静岡県伊豆農林事務所	所長	辻 伸幸	静岡県熱海財務事務所	所長

氏名	会社名	役職
土屋 茂	小林電気工業(株)	代表取締役専務
土屋 順一	東海建設(株)	取締役施工部長
土屋 詔二	日本エム・アイ・シー(株)	代表取締役社長
土屋 昭司	土屋建設(株)	代表取締役社長
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役
土屋 幹夫	(株)幹洋堂土屋新聞店	代表取締役社長
戸栗 賢司	(株)三協エンジニアリング沼津	代表取締役
殿岡 芳明	伊豆の国農業協同組合	代表理事組合長
外木 隆治	白幸産業(株)	代表取締役
富野 章	静岡県沼津土木事務所	所長
鳥井 明典	鳥井明典法律事務所	弁護士
中石 授	静岡県熱海土木事務所	所長
中川 種智	(株)下田大和館	代表取締役社長
永倉 芳郎	沼津通運倉庫(株)	取締役社長
長島 囃雄	御殿場日本電気(株)	社長
長島 博司	戸田村	村長
中島 麗子	中島水産(株)	代表取締役
中野 省吾	大昭和製紙(株)	取締役相談役
中野 直樹	(有)中野新聞舗	代表取締役副社長
中山 寛	日本電信電話(株)沼津支店	支店長
中山 博之	巖工業(株)	代表取締役
西島 昭男	(株)シード	代表取締役社長
西島 洋司	医療法人社団親和会 西島脳神経外科病院	理事長
西原 宏夫	(株)にしはらグループ	代表取締役社長
西村 清常	(株)富士急百貨店	代表取締役社長
二宮 睦治	青木建設(株)	代表取締役
野田 一	東海食糧(株)	代表取締役社長
野田 正治	(株)ナウ環境計画研究所	代表取締役
野村 玲三	(株)野村商店	代表取締役社長
野本二土夫	(株)コーリキ	会長
萩原 静男	(有)熱川第一ホテル	代表取締役
萩原 勝史	ジャトコ(株)	取締役総務グループ部長
橋場 克司	建設省中部地方建設局沼津工事事務所	所長
橋本 和彦	橋本興産(株)	代表取締役社長
橋本 正夫	橋本法律事務所	弁護士
長谷川徳之輔	明海大学不動産学部	教授

氏名	会社名	役職
長谷川浩之	(株)エッチ・ケー・エス	代表取締役
波多野勝彦	東海土建(株)	代表取締役専務
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役社長
原口 昌雄	富士商事(株)ハトヤホテル	代表取締役社長
原田 誠治	静岡新聞社・静岡放送	取締役編集局長
一杉 真城	ヒトスギ塾	塾長
兵藤 真一	MOA広報局	事務局長
平井 利之	静岡県下田財務事務所	所長
平井弥一郎	清水町	町長
福井 靖之	静岡県伊豆県行政センター	所長
富士 貞彦	(株)ひのや	代表取締役会長
藤原 規夫	(株)フジワラ	代表取締役
船山 勅	静岡県下田土木事務所	所長
古井 正康	日本生命保険相互会社沼津総支社	総支社長
古谷 青游	(株)蓬莱旅館	代表取締役社長
北條 武史	SBSメディアサービス(株)	代表取締役社長
星野 茂	(有)星野新聞堂	代表取締役
堀 幹生	三井生命保険相互会社沼津支社	支社長
堀内光一郎	富士急行(株)	取締役社長
真喜屋大実	(株)熱海後楽園	代表取締役社長
増田 秀次	(株)関東精工	代表取締役会長
松井 純	静岡新聞社・静岡放送	取締役社長
松井 大英	了仙寺	代表役員
松金 健一	静岡コンサルタント(株)	代表取締役社長
松下 泉	静岡県信用農業協同組合連合会沼津支店	支店長
松下 公勇	第一生命保険相互会社沼津支社	支社長
松下 敏彦	住友生命保険相互会社沼津支社	支社長
松田 博敏	日産火災海上保険(株)沼津支社	支社長
松永 淳	静岡新聞社・静岡放送	取締役経理局長
松村 勇司	(株)沼津東急ホテル	取締役総支配人
松本 美代	(株)坐漁荘	取締役専務
間野 茂木	堂ヶ島アクーユ三四郎	代表取締役社長
眞野 基夫	(株)沼津第一青果	代表取締役社長
眞野 芳雄	ニッキ工業(株)	代表取締役会長
水口 衛	沼津魚市場(株)	代表取締役社長
水野 典義	静岡県沼津工業技術センター	所長

サンフロント21懇話会名簿

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
三田 仁	特種製紙(株)	代表取締役社長	山本 英一	(株)東平商会	代表取締役
峰田 武	三島商工会議所	会頭	山本 豊一	公認会計士山本豊一会計事務所	所長
三村 高史	スルガコンピューターサービス(株)	取締役社長	山本 博信	大信水産(株)	取締役社長
宮城島安宏	静岡新聞社・静岡放送	取締役営業局長	山本 誠	富士信用金庫	理事長
三輪 俊城	ホテル沼津キャッスル	代表取締役	山本 正和	賀茂村	村長
村上 誠治	(株)いづみ荘	代表取締役社長	山本 良一	山本建設(株)	取締役社長
室伏 勝宏	みしまプラザホテル	代表取締役	山本 淑子	(株)伊東大和館	常務取締役
室伏 進	フジ産業(株)	代表取締役	湯浅 勝俊	(株)日専	代表取締役社長
室伏 正文	(有)丸東工業所	代表取締役	横井 良之	(有)京都もなみ	代表取締役
望月 保身	望月法律事務所	弁護士	吉川 正明	(株)サンエイ	代表取締役
望月 良和	大仁町	町長	依田 邦雄	(株)アイム	トップマネジメントリーダー
本杉 正義	静岡県富士工業技術センター	所長	米山 寛	(株)万城食品	代表取締役
森 紘一	富士通(株)沼津工場	工場長	渡辺 紀	富士宮市	市長
森 惣二	松崎町	町長	渡辺解太郎	韮山町	町長
森 延敏	原町商工会	会長	渡辺幸一郎	(株)三島新聞堂	代表取締役社長
森下 洋	富士ロビン(株)	代表取締役社長	渡辺 定弘	(財)静岡総合研究機構	専務理事
森田 正徳	伊豆太陽農業協同組合	代表理事組合長	渡辺 弘	三盛自動車販売(株)	代表取締役会長
守屋 嘉文	静岡県富士農林事務所	所長	渡辺 光男	静岡県東部農林事務所	所長
安田 昌代	安田家	代表取締役社長	渡辺 雄二	渡辺建設(株)	取締役社長
矢田 利雄	沼津米穀卸(株)	代表取締役	渡辺 嘉子	医療法人社団満寿美会渡辺医院	理事長
矢田部正巳	三嶋大社	宮司			
矢部 彰造	(株)マキヤ	専務取締役			
山形 晋一	アンゼンフーズ(株)	代表取締役			
山岸 武正	(株)ヤス斗	代表取締役社長			
山口 憲祐	東海シティーサービス(株)	代表取締役副社長			
山口左右平	土肥観光ホテル湯の花亭	社長			
山崎 建男	日本電気(株)沼津支店	支店長			
山田喜美江	(株)だるま	取締役専務			
山田 恒夫	伊豆信用金庫	理事長			
山田 俊男	修善寺町	町長			
山田勇一郎	伊東観光協会	会長			
山田勇次郎	富士市農業協同組合	代表理事組合長			
山田 善久	熱海商工会議所	会頭			
山中 崇弘	静岡新聞社・静岡放送	常務取締役			
山中 満明	(株)魚勝	代表取締役			
山仲 宗城	静岡県富士県行政センター	所長			

顧問

●県東部選出県議団 <県議会議員>

(平成11年3月31日現在)

氏名	会社名	役職
<会員の交代>		
片岡 武夫	静岡県伊豆農林事務所	所長
川崎 広志	静岡県沼津財務事務所	所長
酒井 通雄	三協建運(株)沼津支店	支店長
佐野 牧夫	静岡県富士県行政センター	所長
清水 裕	建設省中部地方建設局沼津工事事務所	所長
清水 亘	静岡県下田財務事務所	所長
棚田 博人	静岡県沼津土木事務所	所長
藤田 正行	静岡県熱海土木事務所	所長
前田亮太郎	地域振興整備公団	
	静岡東部特定再開発事務所	所長
望月 暹	静岡県東部県行政センター	所長
森中 俊雄	沼津商工会議所	専務理事
山田 一意	日本ペーレー(株)	代表取締役社長
山村 重光	日本電信電話(株)沼津支店	支店長
吉田 道豊	静岡県富士土木事務所	所長
渡辺 公司	静岡県東部農林事務所	所長

氏名	住所
宮田 行正	田方郡
水口俊太郎	田方郡
石橋 康弘	田方郡
込山 正秀	駿東郡
小坂寿美夫	駿東郡
萩山 巖	沼津市
渡辺 新作	沼津市
川口 久一	沼津市
多家 一彦	沼津市
松本 義廣	熱海市
岩田 政雄	三島市
日原 博	富士宮市・富士郡
吉川 雄二	富士宮市・富士郡
秋鹿 博	富士宮市・富士郡
佃 弘巳	伊東市
鈴木 尚	富士市
遠藤 榮	富士市
野澤 洋	富士市
長崎 国男	富士市
植田 徹	富士市
加藤 丈能	御殿場市
小野 健吾	御殿場市
森 竹治郎	下田市・賀茂郡
鳥澤 富雄	下田市・賀茂郡
歌崎 勉	裾野市

平成10年度にお亡くなりになった会員の方は以下の通りです。

後藤 大右 (株)後藤組 代表取締役
古澤 安衛 南駿農業協同組合 代表理事組合長

改めて、ご冥福をお祈り致します。

サンフロント21懇話会幹事(50音順、敬称略)

氏名	会社名	役職	住所
石田 健二	(株)ハックキミサワ	代表取締役社長	三島市
石井 利平	富士商工会議所	会頭	富士市
大野 康吉	(株)静岡銀行	常務取締役	沼津市
大橋 光雄	沼津商工会議所	会頭	沼津市
尾形 充生	(株)静岡中央銀行	取締役社長	沼津市
岡野 光喜	(株)スルガ銀行	頭取	沼津市
河津 正治	下田商工会議所	会頭	下田市
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長	伊東市
國田 昌裕	東京電力(株)沼津支店	理事沼津支店長	沼津市
庄司 清和	米久(株)	代表取締役社長	沼津市
諏訪部恭一	沼津信用金庫	理事長	沼津市
高木 一三	高木産業(株)	代表取締役会長	富士市
中野 省吾	大昭和製紙(株)	取締役相談役	富士市
二宮 睦治	青木建設(株)	代表取締役社長	熱海市
水口 衛	(株)沼津魚市場	取締役社長	沼津市
三田 仁	特種製紙(株)	代表取締役社長	長泉町
峰田 武	三島商工会議所	会頭	三島市
矢田部正巳	三嶋大社	宮司	三島市

<行政センター所長>

清水 強	静岡県東部県行政センター	所長
佐藤 侃二	静岡県熱海県行政センター	所長
福井 靖之	静岡県伊豆県行政センター	所長
山仲 宗城	静岡県富士県行政センター	所長

<アドバイザー>

大坪 檀	静岡産業大学国際情報学部	教授
------	--------------	----

<常任顧問>

小谷 勇	静岡新聞社・静岡放送	取締役情報システム局長
------	------------	-------------

(前 東部総局長)

サンフロント21懇話会運営委員(50音順、敬称略)

氏名	会社名	役職	住所
浅羽 愛子	あさば旅館	取締役社長	田方郡
荒川 邦夫	(株)永盛丸	代表取締役	田方郡
内田 一仁	農事組合法人堂ヶ島洋らんセンター	代表理事團長	賀茂郡
内田 隆久	伊豆洋らんパーク	代表取締役	田方郡
宇野 統彦	(株)桃中軒	社長	沼津市
大木理久夫	大富運輸(株)	代表取締役	沼津市
岡本久美子	日本産業(株)岡本ホテル	代表取締役社長	熱海市
小野 徹	小野建設(株)	代表取締役	三島市
大日方幸保	(株)地域システム計画研究所	代表取締役	沼津市
片山 劫	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長	伊東市
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	代表取締役社長	裾野市
久保田隆三	春日製紙工業(株)	代表取締役社長	富士市
後藤 孝	ビヨンズ(株)	取締役社長	富士市
齊藤知三郎	大昭和紙工業(株)	代表取締役社長	富士市
齊藤 洋	沼津三菱自動車販売(株)	代表取締役社長	沼津市
塩谷 敦子	(株)ニューフジヤホテル	代表取締役社長	熱海市
諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長	駿東郡
高木 和宏	伊豆経営研究所	代表	賀茂郡
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役	下田市
西島 昭男	(株)シード	代表取締役社長	三島市
野村 玲三	(株)野村商店	代表取締役社長	伊東市
野本二土夫	(株)コーリキ	会長	田方郡
長谷川浩之	(株)エッチ・ケー・エス	代表取締役	富士宮市
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役社長	沼津市
一杉 真城	ヒトスギ塾	塾長	沼津市
真喜屋大実	(株)熱海後楽園	代表取締役社長	熱海市
松井 大英	了仙寺	代表役員	下田市
間野 茂木	堂ヶ島アークユ三四郎	代表取締役社長	賀茂郡
室伏 勝宏	みしまプラザホテル	代表取締役	三島市
安田 昌代	安田家	代表取締役社長	田方郡
山岸 武正	(株)ヤス斗	代表取締役社長	富士宮市
山口左右平	土肥観光ホテル湯の花亭	社長	田方郡
山本 淑子	(株)伊東大和館	常務取締役	伊東市

平成10年度を振り返って

サンフロント21懇話会運営委員長

羽野久雄



21世紀は地方の時代とも言われております。国からの権限委譲、すなわち地方分権が進む事によって地域の特色、個性を活かしたまちづくりの可能性は大きく膨らむわけですが、そこで求められるのは、官民協力への積極的な努力と、住民の主体的な意識、行動が地域活性化のカギを握るといことだと思えます。すなわち地方の時代は地域の自立の時代でもあるわけです。地域の代表者である懇話会会員の皆様には、特にこの点をご認識いただきたいと思います。

さて、4年目を迎えた平成10年度懇話会活動を振り返りますと、6月の伊豆地区分科会で地方分権時代における「中伊豆の魅力ある将来像」について活発な議論をいたしました。10月の東部地区分科会では東部拠点都市づくりのために「駿豆地区都市連合の実現の課題」について話し合い、その実現が必要との認識をさらに強くいたしました。さらに、2月の富士地区分科会では今年4月に一部開園する「富士山こどもの国をふまえた広域都市連合」のあり方を探りました。

特筆したいのは懇話会が提唱し、実現の運びとなった東部地域初の多目的大型催事施設「キラメッセぬまづ」が昨年10月オープニングを迎えたことです。今後この施設が東部のにぎわいづくりの中核になってほしいと願っております。

また、広域連携推進の一環として本年度は懇話会活動のPRにも力を入れ、ラジオイーストに加え、静岡新聞「風は東から～ひかり輝く地域づくりに向けて」を12回にわたり連載し、連動して2度のテレビ特番を制作し、地域のみなさまに広域連携の必要性をわかりやすく訴えてまいりました。

2000年に始まる介護保険やマスコミをにぎわせたダイオキシン問題など、広域都市連携の必要性が誰の目にも明らかになってきた今、サンフロント21懇話会の地域における役割はますます大きくなっていくことと思えます。

さらに次年度は、観光地として活性化が強く求められている伊豆地域で準備が進む伊豆新世紀創造祭を活性化への起爆剤として位置づけ、懇話会としても積極的な支援と地域のまちづくりへの連携役を果たしていきたいと考えております。

これからも運営委員の皆様方ならびに会員の皆様方の更なるご支援の程、よろしく願いいたします。



SF サンフロント21
懇話会

発行 平成11年4月26日

〒410-0892

沼津市魚町1番地サンフロント5F

静岡新聞社・SBS静岡放送東部総局内

事務局TEL.0559-62-6520